

7 商業施設

市南西部地域の商業施設及び商店会の状況は、以下のようになっています。

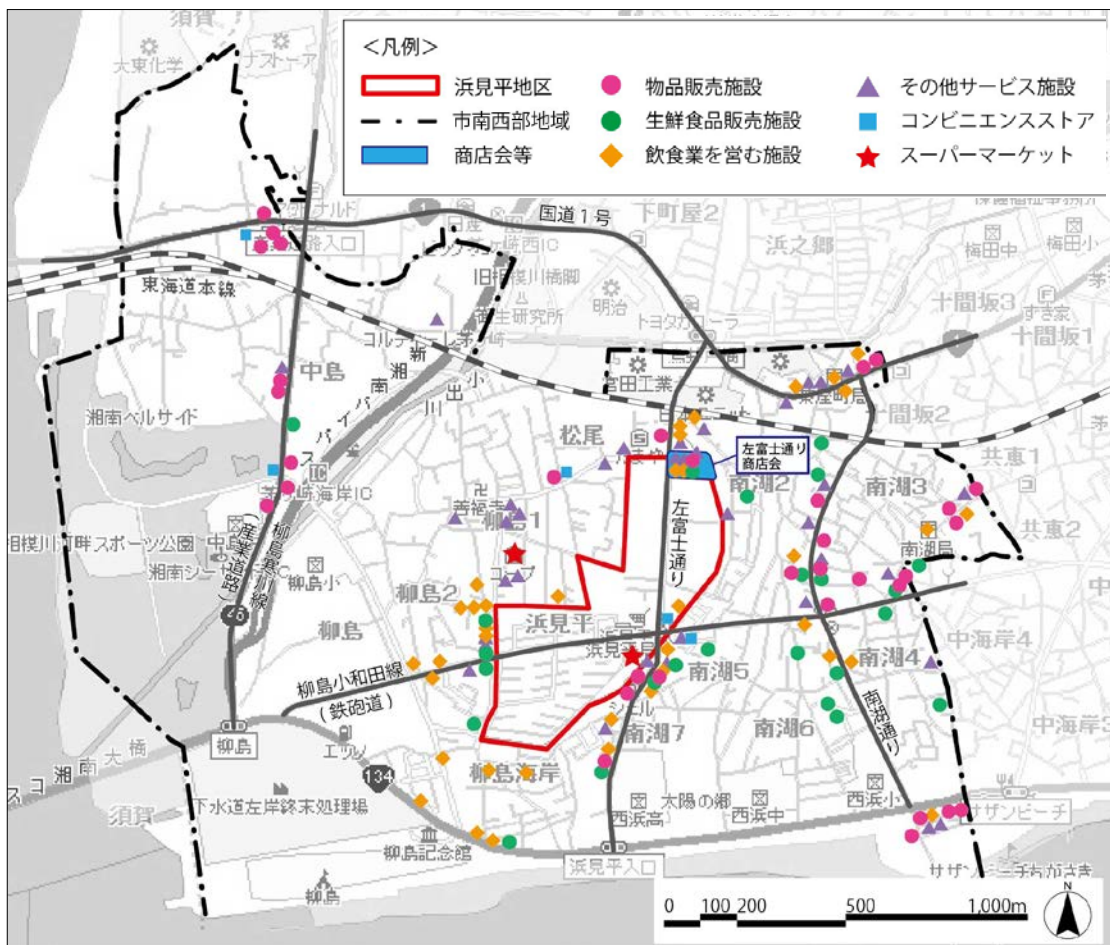
(1) 商業施設の分布状況

市南西部地域では、スーパーマーケットが2店舗、コンビニエンスストアが5店舗、これらを含め約 270 店舗が立地しており、左富士通り、柳島小和田線（鉄砲道）、南湖通り、柳島寒川線（産業道路）、国道1号の沿道を中心に分布しています。浜見平地区周辺では、左富士通りと柳島小和田線（鉄砲道）沿いに集中しています。

浜見平地区内では、平成27年4月にオープンしたハマミーナ（茅ヶ崎市南西部複合施設）と一体的に整備された商業施設と平成29年3月にオープンした鉄砲道南側街区（H街区）の商業施設の2つの施設が新しく整備されています。

ハマミーナ（茅ヶ崎市南西部複合施設）と一体的に整備された商業施設の1階には、コンビニエンスストア、調剤薬局、郵便局が出店しており、2階にはカフェが出店しています。このカフェは、NPO まちづくりスポット茅ヶ崎と連携し、各種イベントやワークショップを開催しており、コミュニティづくりに寄与する取組みを行っています。

H街区の商業施設内には、これまで地区の中央にあった浜見平ショッピングセンターの店舗や、スーパーマーケット、飲食店、薬局、雑貨、衣料等が出店しており、市南西部地域の住民の生活を支える商業施設として重要な役割を担っています。



■市南西部地域の商業施設と商店会の分布状況

(2) 周辺商店会の状況

市南西部地域の商店会は、H 街区の商業施設がオープンする前までは、浜見平商店会も含め、3つの商店会がありました。現在は、左富士商店会、南湖やんべえよ会の2団体が活動を行っています。

ア 左富士商店会

左富士商店会は、現在の西東京市のひばりが丘団地周辺で営業していた店舗の方が、浜見平団地ができる際に支店を出すことになり、現在の浜見平地区北側の街区に店舗を開いたことが、商店会の始まりとなっています。昭和48年の加盟店舗数は21店舗でしたが、現在は11店舗（賛助会員を含む）となっています。商店会の主な活動としては、御霊神社の例大祭や浜降際での神輿の担ぎ手へのお酒や義経汁のふるまい等を実施しています。

店舗数が年々減少していることに加え、左富士通りを挟んで隣接していたスーパーマーケットが鉄砲道南側、H 街区の商業施設に移転したことから、人の流れが変化することに危惧感を抱いており、商店会の課題となっています。

イ 南湖やんべえよ会

南湖やんべえよ会は、南湖で商店や事業所を営業している人、または南湖に在住している人で構成されており、商業者の枠を超えた異業種が集まった会として平成25年に設立されています。

南湖通りには、もともと西浜サービス会という商店会がありましたが、解散前には6～7店舗まで減少し、街灯の維持管理が困難な状況となっていました。平成23年から「南湖みんなでやんべえよ」というお祭りを実施したところ、地元を受け入れられ、また行政の支援もあり、西浜サービス会の事業を引き継ぐ形で、南湖地域の商店会として活動しています。主な活動としては、毎年10月末に「南湖みんなでやんべえよ」で屋台や舞台、子ども達の出し物等のイベント等を実施しています。

イベント企画については、営業しながらの取組みであることから、ありきたりのものとなっているとの認識もあり、地域との横のつながりを大切にしながら、外部の視点からのアイデアを受けながら、周辺と連携していくことが課題となっています。

ウ 浜見平商店会

浜見平商店会は、昭和39年の浜見平団地の建設にあたり、現在のUR都市機構がテナント公募し、その店主により商店会が発足しています。18区画すべてが埋まっていた時期もありましたが、H 街区の商業施設のオープン前には7店舗まで減少していました。近年では、毎週金曜日に商店会の前広場で、UR都市機構の協力を得ながら飲食店組合と連携して、浜見平マーケットの実施等に取り組んできていました。

現在、一部店舗がH 街区の商業施設内に移転し、継続して営業しています。